台風によるライフライン停止を対象とした避難タイムライン

～ ハザードマップで想定されていない予期せぬ浸水・洪水にも備える ～

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 時間 （目安） | 施設の防災体制 | | タイミング・判断基準 | 防災行動（例） | 役割分担  （◎主体、○行動支援） | | | 備　　考 |
| 体制区分 | タイムラインレベル | 洪　水 |  |  |  |
| -120h （5日前） | 注意体制 | タイムライン発動 | * 台風が発生し、佐賀県（ 南部 ・ 北部 ）で早期注意情報の「暴風」「大雨」で「高」または「中」の日があるとき | * タイムライン発動を職員に周知 * 防災気象情報の収集 |  |  |  |  |
| レベル１  災害への心構えを高める |
| -48h （2日前） | レベル２  災害モード意識に切替  （台風対策の実施） | * 佐賀県に台風が接近又は上陸する恐れが高くなったとき | * 対策会議を開催 * 防災資機材と備蓄品の確認・点検 |  |  |  |  |
| -24h （1日前） | * 大雨又は洪水注意報が発表されたとき | * 防災気象情報の収集体制を強化 |  |  |  |  |
| 警戒体制 | レベル３  災害発生の恐れ | * 警戒レベル３（高齢者等避難）が発令されたとき   ※台風の場合、安全に避難できるように気象警報等が発表される前に早めに市町から避難情報が出されることがあります。 | * 施設長に報告及び全職員に連絡 * 事前に指定された管理職及び職員は参集 |  |  |  |  |
| * 大雨警報（浸水害）又は洪水警報が発表されたとき | （予期せぬ浸水・洪水に備える）   * 施設周辺の様子を定期的に確認 * 浸水（内水氾濫）と洪水（中小河川氾濫）のキキクル（危険度分布）を定期的に確認 |  |  |  |  |
| 非常体制 | レベル４  （全員避難） 災害発生の恐れが高い | * 警戒レベル４（避難指示）が発令されたとき | * 施設長に報告及び全職員に連絡 |  |  |  |  |
| レベル５  （緊急安全確保）  災害発生又は切迫 | * 警戒レベル５（緊急安全確保）が発令されたとき | * 施設長に報告及び全職員に連絡 |  |  |  |  |
| * 施設及び周辺で浸水がはじまったとき | * 施設内の安全な場所に直ちに避難 * 避難の開始 * 避難完了を自治体に報告 |  |  |  |  |
|  | * ライフライン（電気・ガス・水道）が停止したとき | * ライフライン停止によるサービスへの影響を確認 * ライフラインの代替手段などを利用して必要最小限のサービスを継続 * 復旧時期を確認し、ライフライン停止が長期化する可能性がある場合は、支援の要請や施設外避難も含めて検討 |  |  |  |  |

※本タイムラインはあくまでも目安です。タイムラインどおり起きるとは限りません。なお、警戒レベル５（緊急安全確保）は、必ず発令されるものではありません。

※災害を引き起こす自然現象を対象としているので、防災気象情報や施設周辺の状況に応じて、タイミング・判断基準にとらわれることなく常に「命を守る」ことを念頭に臨機応変に行動しましょう。